

## 教職員の資質を高める学校評価

札幌市立旭小学校

### I はじめに

学校改善に結び付いた学校評価

#### 1 本校における学校評価のねらい

本校においては学校重点目標「主体的に学びあい・活動する心豊かな子どもの育成～確かな学ぶ力を育む・豊かな心を育む・健やかな身体を育む～」の具現化に向け、教育課程の編成・実施を進め、子どもの育ちをもとに評価・改善に努めている。その最たるねらいは子どもがより良い学校生活を送るためであり、その最良の方策が教職員の学校経営参画意識を向上させ自らの資質を向上させることである。子どもに確かな学力を育むための授業力、楽しさ・温かさ・厳しさのある学年・学級を経営する指導力を、組織的に高めることが学校改善に結びつき、総合的な学校力の向上に発展すると考えるからである。

そのために、2期4節の年間評価サイクルに基づき、長期的なPDCAの取組で子どもを育むことをベースにしながらも日常的に繰り返されるショートサイクルでのPDCAの取組を重視する。1時間の授業の中で、1日の生活の中で「こうしよう」と目標を立て実践する。よかった点改善すべき点を明確にし、次の目標を立てる。この過程での取組や意識の高まりが「授業力」「指導力」を高める源なのである。

#### 2 昨年度の学校評価をもとにした改善点

本校では、昨年度の年度末評価で次のような課題が明確になった。

<確かな学ぶ力の育成にかかわって>

「学力テスト」

○「学力テスト」をCRT式からNRT式に変更し、全国的学力水準との比較、経年的な評価、学級全体の達成度などのよさを活用した客観的なデータを得る。

「読書」

○朝の学習時間の「読書」では、寄託図書を利用しテーマに沿った本を一斉に読ませることで内容の交流を図り、読書の意欲を高める。

「宿題」

○各学級が毎日「宿題」を出すようにし、家庭学習の習慣化のきっかけを与えるとともに学校の学習との連続性を図る。

「少人数指導」

○学級の枠を超えた「少人数指導」の年間計画を充実させるため、「算数」で全学年、習熟度別学習を実施することを通して学力向上を図る。

「旭の森」

○「旭の森」のよさを生かす生活・総合の年間計画を立て、実践し改善を図る。

「学習中、

自分の考えを話す」

○「学習中、自分の考えを話す」というアンケートの評価項目に対し子どもと教職員の評価に大きなズレがあったので教師の「話の引き出し方」を改善する。

「基礎・基本の学力の  
上に確かな学力」

○「基礎・基本の学力の上に確かな学力（考える、判断する、表現する、伝え合うなど）を高める」という目標を示し、子どもにも自覚させ、取り組ませる。

<豊かな心の育成にかかわって>

「花ランド植花」

○とよひら花ランド事業に基づいた奉仕的行事である「花ランド植花」とPTA花壇づくりを同じ日に設定し、保護者も地域の方・子どもたちと一緒に植花する。

## 「食指導」

<健やかな身体の育成にかかわって>

○「食指導」をTT形式による形態で行い、より子どもが「食への意識」を高めるなどの教育的効果があがるようにする。

この課題を受け、年度初めの学校説明会で3つの重点それぞれにおける改善点を保護者に伝え、1年間の取組が始まった。

### (1) 確かな学ぶ力を育む～旭だから溢れる学欲～

- ・子どもの学力の実態の把握…学力テストの学級単位での早期分析
- ・教員の授業力アップのための校内研修と校外研修…各自授業考察カード記入
- ・授業効果を高める学習ボランティアの活用、TTの充実

いろいろな楽器演奏でコラボレーション「旭ふれあいコンサート」

習字の達人と体育館で「書き初め会」など

- ・朝の学習の確実な定着と内容の充実
- ・宿題の内容の工夫による家庭学習の習慣化

### (2) 豊かな心を育む～旭だから温かい～

- ・あいさつ「100%」、いじめ「0」の学校生活
- ・異学年交流、いろいろな「ひと」とのコミュニケーションを図る

### (3) 健やかな身体を育む～旭だから汗いっぱい安心・安全いっぱい～

- ・基本的生活習慣の定着と意識の向上
- ・体育での統一した取組…なわとび、ボール運動
- ・食育指導計画の充実と家庭へのはたらきかけ
- ・健康教育推進プランの充実

旭健康フォーラム2DAYSの実施…参観日に実施 保護者へ啓発

- ・防犯対策の研修や安全システムの拡充
- ・保護者、地域との連携による安心・安全な地域づくり…セーフティリレー

## II 本校の学校評価システム

### 学校評価システム

#### 1 自己評価と評価組織

本校では「教育課程委員会」が学校重点目標の具体化について教職員の共通理解を図るとともに評価内容や評価項目を設定した「学校評価年間計画」を策定し、主に教務主任が中心となり学校評価システムの充実に向け、取り組んでいる。教頭、教務主任、総務、研究部長が会の構成員である。

自己評価については、前述したように4つの節の終了時、職員会議にて学級の子どもの育ちからみた取組の評価を各担任が行っている。また、中間と年度末の2回の学校評価を行う際には、教職員による評価、児童・保護者アンケート、学力テストの結果等をもとにして、各担任、低・中・高学年のブロックや各部、特別委員会が行っている。その結果をもとに自己評価書を作成し、保護者に配布するとともに学校ホームページにも公開している。

#### 2 学校関係者評価委員会

本校では今年度から中間評価、年度末評価ともに学校関係者評価委員会を開き、評価をしてもらっている。年度当初に評価項目を提示するとともに、本校の自己評価書の評定や今後の改善策が適正かどうかを評価するというねらいを伝えた。また全ての教育活動の具体を知ることが難しいことから、観点をもって実際の授業を見てもらうとともに、学校に来た時の子どもの授業の様子、あいさつ、教職員の対応、各種お便り、HPの内容等、評価できそうなポイントを示し、より適正な学校評価ができるようにした。

### Ⅲ 学校評価の年間の流れ

	自己評価				学校関係者評価
	学校(教職員)	児童生徒	保護者	地域	学校関係者評価委員会
4	学校経営方針の周知・確認 学校評価年間サイクルの提案 学校評価年間計画の提案 参観懇談 PTA総会 年間学校公開計画提案-保護者へ配布	知能検査 (2・5年) 学力検査(2年以上) 全国学力学習状況調査 単元ごとの振り返りカード	各参観日の 子どもの姿の 重点の周知		
5	参観懇談 旭スクールフォーラムⅠ(学校説明会) の実施 PTA全体会 運動会 学力テスト分析・考察	単元ごとの振り返りカード  運動会頑張りカード	参観アンケート	地域連携事業 運営委員会	運動会観覧
6	1節の振り返り 花ラント植花・PTA花壇整備 家庭訪問 学校評価項目の提案	単元ごとの振り返りカード	家庭訪問で 担任と教育相談	スクールゾーン 実行委員会 中学校区青少年 健全育成推進 会	第1回「学校関係者評価委員会」で学校評価年間計画の理解 学校からの取組の説明
7	参観懇談 中間評価アンケート	食と健康のアンケート 単元ごとの振り返りカード	参観アンケート		
8					
9	参観・懇談 中間学校評価～ブロック研修、校務部 会 特別委員会 学校評価全体会 前期自己評価書の作成・公表	自己評価「かがやき」を書く 単元ごとの振り返りカード	参観アンケート	地域連携事業 運営委員会	
10	教育課程研修会 学習発表会 地域フォーラム	単元ごとの振り返りカード 学習発表会頑張りカード	学習発表会 アンケート 地域フォーラム	地域フォーラム	第2回「学校関係者評価委員会」前期学校関係者評価書の作成 授業参観 地域フォーラム
11	土曜参観(学校公開) PTA 旭キラキラまつり 教育課程研修会	単元ごとの振り返りカード クラブ活動振り返り	参観アンケート	学校公開参観 アンケート スクールゾーン 実行委員会	学校公開参観
12	年度末アンケート 教育課程研修会	年度末評価用 児童アンケート 単元ごとの振り返りカード	教育相談 年度末評価 用保護者アンケート		
1	年度末学校評価～ブロック研修、校務 部会 特別委員会～ 滝野宮の学習	単元ごとの振り返りカード			
2	参観・懇談 年度末学校評価～学校評価全体会 後期自己評価書作成	単元ごとの振り返りカード	参観アンケート	地域連携事業 運営委員会	
3	学年末懇談 卒業証書授与式 後期学校関係者評価書の公表	自己評価「かがやき」を書く 単元ごとの振り返りカード			第3回「学校関係者評価委員会」後期学校関係者評価書の作成 児童集会参観 スクールフォーラムⅢ

## IV 学校評価の方法

### 評価項目の重点化を図る

### 1 自己評価

#### (1) 項目の設定

3つの重点項目に、子どもの育ちと教職員のかかわりの両面からそれぞれ5から8の項目を設定した。計40の項目が出来上がった。

#### (2) 児童・保護者アンケートの実施

毎回の授業参観の際に、重点に対する我が子の状況と授業内容等についての簡単な評価を保護者にもらっている。また7月には児童に対して、朝食摂取、排便の回数、就寝時刻と起床時刻等、「食と健康のアンケート」を行った。さらに年度末評価では教職員の項目と同じ内容にして比較ができるよう児童と保護者にアンケートを行った。

#### (3) 結果の集計と分析・自己評価書の作成

児童・保護者アンケートの4段階評価部分の集計作業は担任が、教職員のアンケートと保護者のアンケートの文章記述については教育課程委員会が集計した。その結果をもとに学校評価全体会で改善策を検討し、教育課程委員会を中心に年に2度、自己評価書を作成した。

#### (4) 改善策の検討

学校評価全体会を2度ずつ行っている。1回目では、アンケートの集計結果の理解と交流、各ブロック、各部、特別委員会からの自己評価の説明と交流を行う。その後、教育課程委員会が課題を受け改善策を示す自己評価書を作成する。2回目では、自己評価書の評価と改善策の妥当性を検討し、決定する。

### 2 学校関係者評価

#### (1) 学校関係者評価委員の構成と役割

町内会長、PTA会長、学校歯科医、同窓会会長、民生主任児童委員、まちづくりセンター長、北海学園大学ボランティアスクール代表の計7名が構成員である。事前に渡した自己評価書の適正さをA～Dの4段階で評価してもらう。

#### (2) 学校関係者評価書の作成

学校関係者評価委員の方の評価を総合して、教育課程委員会を中心に学校関係者評価書を作成する。委員の方に最終的な確認をしてもらい完成する。

## V 評価結果の公表

### 公表方法の多様化

### 1 公表の方法

本校では保護者に自己評価書、学校関係者評価書を配布し、学校ホームページに掲載する。また学校説明会でも直接プレゼンテーションによる説明・交流を行う。

### 2 公表の効果

昨年度から教育活動全般を学校ホームページで精力的に公開していることで、アクセス数も多くなり保護者の関心が高くなってきた。授業参観の姿勢、アンケートの記述の内容等に前向きさが感じられ、教職員一同 真摯に受け止めている。

## VI 成果と課題

年間の学校評価の取組として授業研での「授業考察カード」を全員提出して交流するなどPDCDのサイクルをLongとShortとで有機的に組み合わせることにより教師のメタ認知力が向上し、毎日の授業改善、子どもへの指導・評価に活かすことができたことが成果である。今後は、成果を具体的・客観的に示すことができるアウトカム指標を充実させ、学校力を高める学校評価に取り組んでいきたい。

# 平成20年度 前期自己評価書及び学校関係者評価書

平成20年9月30日

札幌市立旭小学校

## 1 本年度の重点目標

**主体的に学び合い・活動する心豊かな子供の育成**

○確かな学ぶ力を育む ○豊かな心を育む ○健やかな身体を育む

## 2 本年度の経営方針

**たくましく生きる心豊かな子供の育成と**

**創造・協働・信頼あふれる学校づくり**

## 3 自己評価結果① A…大変よい状況である B…よい状況である C…改善が必要なところがある D…かなり改善が必要である。

学校関係者評価 \*自己評価、改善策の適切さ A…大変適切である B…おおよそ適切である  
C…一部適切ではない D…全く適切ではない

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
確かな学ぶ力を育む (子供の育ち編)	自分の考えを話しているか。	B	話すことへの抵抗をなくしたり、話す機会を多く設定したりして「話せる子」を目指している。個人差はあるが自分から「話せる子」が増えているので継続した力のやりをする。	B	B
	先生や友達の話の聞いているか。	B	先生や友達の話の聞く「姿勢」「態度」の定着を前期は重点的に行ってきた。今後は「反応しながら聞く」「自分の考えと比較しながら聞く」「聞いて自分の考えを高める」などして聞き方のレベルをあげていく。	B	B
	知識や技能を身に付けているか(基礎基本の獲得)	B	「繰り返す」「継続する」ことで知識や技能の定着を図ってきた。宿題と朝の学習の効果も出てきている。今後も確実な知識、技能の習得に向け同様の継続目標に努める。	B	B
	知識や技能を活用し、自分の考えをもって学習しているか	C	自分の考えをもつために既習を活用して問題を解くなどの「場」をもった。しかし、不十分な状況である。今後はさらに基礎基本の力を身に付けるとともに活用する「場」の工夫をする。	B	B
	話し合い(交流)ながら、様々な見方や考え方を得て学習しているか。	C	自分の考えをもたせることに重点をかけてきたが、それを仲間同士で活発に話し合う場が全体的に不足していた。今後は交流の機会を多く設け、教師も仲間同士をつなぐかわりを重視していく。	B	B
	知りたい、分かってほしい、楽しみたいなど意欲をもって学習しているか。	B	教材の与え方や展開の工夫を図り授業を行ってきたので学習意欲の高い子供が多い。今後もさらに授業を工夫し、より楽しく分かりやすいものを目指す。	B	A

平成20年度 札幌市立旭小学校 保護者アンケート

最も該当する欄ひとつに「○」をつけてください

重点“確かな学ぶ力を育てる”についての項目

1	お子さんは学習時間、自分の考えを先生や友達に話していましたか。	大変よく話していた	よく話していた	あまり話していませんでした	ほとんど話していませんでした
2	お子さんは先生や友達の話聞いていましたか。	大変よく聞いていた	よく聞いていた	あまり聞いていませんでした	ほとんど聞いていませんでした
3	お子さんは学習したことがわかっていましたか。よくできていましたか。	大変よくできていた	よくできていた	あまりできていませんでした	ほとんどできていませんでした
4	お子さんはわかったことやできるようになったことを使い、学習していましたか。	大変よく学習していた	よく学習していた	あまりできていませんでした	ほとんどできていませんでした
5	お子さんは自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしてみんなで学習していましたか。	大変よく学習していた	よく学習していた	あまりできていませんでした	ほとんどできていませんでした
6	お子さんはもっと知りたい、分かってほしいという意欲をもって学習していましたか。	大変よく学習していた	よく学習していた	あまりできていませんでした	ほとんどできていませんでした
7	お子さんの家庭学習の習慣化に宿題が役に立ちましたか。	大変役に立った	役に立った	あまり役に立たなかった	ほとんど役に立たなかった
8	家庭学習をするお子さんをどのように見守っていますか。	そばについて見守る	終了後、チェックする	やったかどうか声をかける	任せきり
9	家庭学習でお子さんにこれからどんな支援ができそうですか 記述願います				
10	確かな学ぶ力の育成に関して お気付きの点がありましたらお書きください。記述願います				

重点“豊かな心を育てる”についての項目

1	お子さんは家のきまりや家の人との約束を守って生活していますか。	大変よくできている	よくできている	あまりできていない	ほとんどできていない
2	お子さんは兄弟や家族を思いやり、仲よく生活していますか。	大変よくできている	よくできている	あまりできていない	ほとんどできていない
3	お子さんは家での役割・分担がありますか。その仕事をやり遂げていますか。	大変よくできている	よくできている	あまりできていない	ほとんどできていない
4	お子さんは、家でもあいさつをしていますか。	大変よくできている	よくできている	あまりできていない	ほとんどできていない
5	お子さんは友達をいじめたり、ともだちからいじめられたりしていませんか？	全くなかった	ほとんどなかった	あったほうだ	よくあった
6	お子さんは思いやりのあるあったか心をもっていますか。	大変思いやりがある	思いやりがあるほうだ	あまり思いやりを感じない	思いやりを感じない
7	豊かな心の育成に関して お気付きの点がありましたらお書きください。記述願います				